

よしまる かずまさ
 ♪ 吉丸 一昌 (1873-1916)

文部省の「尋常小学唱歌」の作詞委員を務めた。
 学校唱歌や校歌の作詞は、数百曲にのぼる。

■代表曲

「早春賦」「故郷を離るる歌」

■こんな人物

明治27年(1894)9月、熊本第五高等学校に入学。英語の落第点を取った際、漢文の成績が優れていたため、英語科担当の夏目漱石から及第点を授けられたというエピソードがある。

明治31年(1898)9月、東京帝国大学国文科に入学。同時期に、「修養塾」を開塾し、苦学生へ勉学の機会を与えた。卒業後は東京府立第三中学校教諭となり、当時の在校生に芥川龍之介がいた。

明治42年(1909)4月、東京音楽学校教授に就任。同年6月、文部省より小学校唱歌教科書編纂委員を囑託された。明治43年(1910)には学友会雑誌「音楽」を創刊。編集長として自作を発表した。明治45年(1912)7月に出版された『新作唱歌 第一集～第十集』は代表的作品集である。

■生没年

明治6年(1873)9月15日、大分県北海部郡海添村(現・大分県臼杵市海添)で生まれた。父は臼杵藩の下級武士であった。没年は大正5年(1916)3月7日、享年43歳。遺骨は東京都文京区本駒込の龍光寺に葬られている。

♪ 参考文献

- ・『芥川龍之介とその時代』関口安義著 筑摩書房 1999 [910.26/1712]
- ・『童謡・唱歌でたどる音楽教科書のあゆみ 明治・大正・昭和初中期』松村直行著 和泉書院 2011 [767.7/240]
- ・『早春賦をつくった吉丸一昌 我が祖父、その生き様を探る』吉丸昌昭著 ほおずき書籍 2019 [911.58/140]